

耐溶剤性

溶解	クロロホルム、アセトン、ベンゼン、トルエン、キシレン、ジクロロエタン、酢酸エチル、酢酸ブチル、酢酸アミル、氷酢酸、メタノール、アリルアルコール、四塩化炭素、塩化ブチル、二硫化炭素、ブチルアルデヒド、アセトニトリル、ジメチルエーテル、シクロヘキサン、フェノール、クレゾール、モノクロロベンゼン、アニリン、ベンズアルデヒド
常温では溶解しにくい、膨潤または、クラックを生じやすい	エタノール、ブタノール、イソプロパノール、オクタン、ステアリン酸ブチル、二臭化エチレン
常温では侵されない	ヘキサン、石油エーテル、パラフィン、グリセリン、メチルアミン、オリーブ油

出典：浅見高：「プラスチック材料講座②アクリル樹脂」（1970）、P85-89 日刊工業新聞社

耐酸性と耐アルカリ性

A. 耐酸性

酸類	20℃ 14日	60℃ 14日
硝酸	10%まで侵されない	10%でわずかに侵される
塩酸	31%まで侵されない	31%まで侵されない
燐酸	50%まで侵されない	25%まで侵されない
硫酸	25%まで侵されない	20%まで侵されない
酢酸	50%まで侵されない	10%まで侵されない
クエン酸	飽和溶液で侵されない	飽和溶液で侵されない

上記については、板として試験しています。実際については外部圧力や内部ひずみがありますので、この結果と異なることがあります。

B. 耐アルカリ性

炭酸ソーダ、苛性ソーダ、苛性カリ、いずれも20～60℃において侵されません。

アンモニアは20℃では30%まで変化しませんが、60℃では10%で表面が曇ります。

C. ガス体の影響

空気、酸素、窒素、水素、オゾン、亜硫酸ガス等によっては変化しません。

乾燥した塩素ガスは表面を僅かに腐食するのみですが、湿った塩素ガスは腐食します。